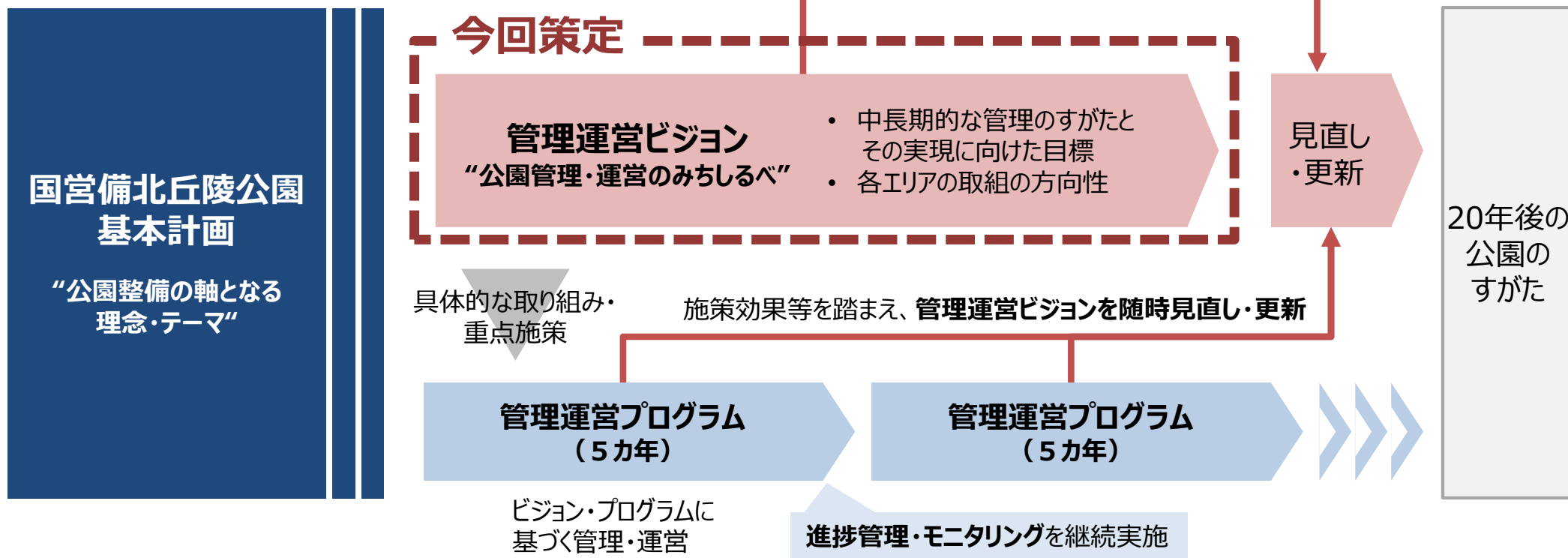


国営備北丘陵公園管理運営ビジョン検討懇談会 管理運営ビジョンの概要について

管理運営ビジョンとは

- 社会環境・ニーズ等の変化に対応しつつ、本公園を持続的に運営するため、**今後20年の中長期的に目指すべき管理運営の方向性**として、公園利用者に**引き続き提供すべき価値・体験・サービス**や、今後一層伸ばしたいサービス、本公園の**目指すべき地域連携等について示し**、公園管理の担い手や公園づくりに関わる周辺地域が**共有することを目的に策定**するもの。
- 策定した管理運営ビジョンに基づき、5カ年の管理運営プログラムによる重点的な取組を中心とした**具体的な管理運営を進める**とともに、公園関係者による協議会の組成等により、社会動向や取組状況を踏まえてビジョンを更新する仕組みを構築する。



国営備北丘陵公園管理運営ビジョンについて（概要）

管理運営ビジョンの検討プロセス

- 策定にあたっては、有識者等からの意見聴取を目的とした**検討懇談会**を設置し、懇談会での意見を参考に整備局が策定を行う。

懇談会開催スケジュール

懇談会スケジュール	主な議題
第1回懇談会 (9月4日)	・管理運営ビジョン（方向性）へのご意見 ➢ 公園の課題・ポテンシャル・20年後のすがた
第2回懇談会 (10月中旬)	・管理運営ビジョン（骨子）へのご意見 ➢ ビジョン実現による効果・目標、取組の方向性 ➢ ビジョンを更新していく仕組み ・現地視察
第3回懇談会 (12月上旬)	・管理運営ビジョン（案）へのご意見

- ビジョンは以下の計画体系・プロセスにより策定。

公園の役割の確認

公園の現状分析と 望ましい管理のあり方設定

自然・環境・文化

- 自然環境の価値の向上
- 社会実験としての場の利用
- 安全・安心な生活を守る

まちづくり・観光

- 地域づくり、まちづくりへの貢献
- 地域における民間活力の創出
- 観光振興、広域的な対流促進

暮らし・Well-being

- 持続的な公園運営の推進
- 暮らしの幸福・well-beingを支える

公園・地域を
とりまく
社会動向・課題
＋
公園に
期待される役割

公園全体と各エリア毎の管理の方向性と取組目標

公園全体の目標（例）	エリアごとの目標（例）
● 歴史文化の継承 (満足度、様々な魅力的なイベント開催頻度)	①中入口センターエリア ・地域・広域集客と魅力伝達（施設利用者数、消費額、ブランディングイメージ、情報発信効果）
● 地域・広域集客と魅力伝達 (来園者数、来園者の構成、満足度)	②ひばの里 ・歴史文化の継承（満足度、イベント開催頻度） ・消費の拡大（消費額）
● 地域貢献と持続性のあるブランディング (売り上げ金額、観光拠点（様々な魅力的なイベント開催）、情報発信頻度・効果、関係人口数）	③つどいの里 ・利用の拡大（満足度、利用者構成）
● ○○の増強 (○○数の拡大・・・) 等	④水辺の里国兼池 ・利用の拡大（満足度、利用者構成）
	⑤北入口センターエリア ・地域貢献・ブランディング（施設利用者数、消費額、情報発信頻度・効果、関係人口数）
	⑥みのりの里 ・利用の拡大（満足度、利用者構成）
	⑦備北オートビレッジ ・利用・消費の拡大（満足度、利用者構成、利用率、消費額）
	⑧いこいの森 ・地域貢献（教育・研究への寄与、情報発信効果、関係人口数） () 内は目標充足度を把握するために用いる指標を例示